

令和2年度「学校評価結果報告書」

学校法人 三宝学園
三宝幼稚園

当園ではこの度、令和2年度の幼稚園学校評価として、教職員自己評価を実施いたしました。教職員一人ひとりが、自らの教育活動や園運営の状況を振り返ることで、自身や園全体を見つめ直すいい機会となりました。

また、それぞれの評価結果について、皆で話し合うことにより、成果や今後の課題、改善の方向性などを明らかにすることができました。この評価の結果を深く受けとめ、更なる教育活動の充実、教育環境の整備、教職員の資質向上に努めてまいります。

I. 教育目標

当園は、仏教の知性と慈愛のもとに、幼児に良き教育環境を与え、明るく、のびのびと楽しい体験を通じて、社会に生命を生かす、自主的精神に充ちた心身共に、健やかな人間完成をめざし、仏の心として愛育助長したいと念うものです。

1. 元気なつよい子ども
幼児の心身の調和的な発達を図り、健全な心身の基礎を養う
2. きまりを守れる子ども
基本的、生活習慣と正しい社会的態度を育成し、豊かな情操を養い、道徳的芽生えをつちかう
3. のびのびとした創造性豊かな子ども
のびのびとした表現活動を通じて、創造性を豊かにする

II. 今年度の重点目標

- 教職員の資質向上 ●安全管理体制の充実 ●保護者への発信 ●長時間保育の検討

III. 評価項目と取組み状況

評価項目	取組み内容	取組み状況
1 教職員の資質向上	研修での学びを子どもたちへの声掛けや保育の流れに取り入れて、日常保育に活かしていく。	A コロナの影響もあり研修がオンラインメインとなったが、様々なプログラムから自分の興味がある物を選び研修に参加できるようになっており、研修に参加しやすくなっている。
2 安全管理体制の充実	安全な園生活を提供するため、点検項目の見直しを行い定期点検を引き続き励行していく。	B 遊具は毎日消毒を行っており、そのときに点検も実施している。もし少しでも不具合が起こりそうな所を見つければ、その都度修理処置をして安全面に配慮していた。
	緊急時のマニュアル等を再確認のうえ整備し、地域との連携を図った訓練を試みていく。	A 月に一度避難訓練を行っている。また施設についてマニュアルを作成し職員の共通理解を深めることができた。コロナの件もあり、地域との対面による連携は難しかったが、ホームページ等のインターネットを活用することで補っていた。

令和2年度「学校評価結果報告書」

学校法人 三宝学園
三宝幼稚園

評価項目	取組み内容	取組み状況
4 保護者への発信	保護者の共通理解を得ていくため、園の方針やねらい等を分かりやすく伝えることを常に心掛けていく。	S コロナの関係で、休園中や参観日が中止になったが、ホームページでは継続的に園の様子を伝え発信していた。また今年からFacebookでも情報発信をし、保護者の共通理解を得るために心がけた。また、行事で人数制限をしたが、園からのコロナ対策の手紙を通して保護者にも理解をしてもらえたと思う。
5 長時間保育の検討	保護者ニーズに応え、保護者の安心感につながる子どもを預けやすい環境を提供していく。	S 今年度も昨年度と同じくお預り保育（夏季、冬季、春季）を実施し、教職員との話し合いにより時間配分を調整を決め順番に当たった。また延長保育の時間延長するなどもおこなった。いずれも常日頃保育している教員が、預り児をみているので、子どもや保護者の安心感に繋がれると思う。

【評価の基準】

S	十分達成されている
A	達成されている
B	取組まれているが、成果が十分でない
C	取り組みが不十分である

IV. 今後取り組むべき課題

1 教職員の資質向上	実際に同って受ける研修でしか体験できないことがあるので、オンライン研修全盛の今、どのようにその状態に近づけることができるのかを創意工夫する必要がある。
2 安全管理体制の充実	来年度(令和3年度)に園舎(遊戯室・西園舎)の立替え工事が実施するので、第一に子どもの安全を考慮しながら保育内容、遊びなどの様に進めていくかが課題。
3	今年度感染症の為外部との連携が実施できなかった。やはり地域の連携が大事なので、避難場所への確認・訓練は必要なので実施したい、消防署等の実地訓練・不信者対応の訓練も実施したい
4 保護者への発信	ホームページやSNS等インターネットで更なる情報発信を行っていく。
5 長時間保育の検討	長時間保育により職員の負担増加や人員の確保など

V. 学校関係者の評価

先生方が子ども達の為にたくさんの研修を積み、熱心に取り組んで下さってる事をありがたく思います。コロナ禍の中、遊具やおもちゃ、教室などをこまめに消毒していただき、先生の負担も増えて大変かと思いますが、本当に保護者一同感謝しております。仕事をしている保護者が増えている中、春夏の預かり保育、平日の延長保育は本当に助かっております。昨年、今年度は、コロナ禍の中、様々な行事が中止になりました。例年は、たくさんの行事がありますが、先生の負担を減らす意味でも、もう少し行事を、少なくされてもよいかと思います。子供達の為にいつも色々ありがとうございます。

<後援会会長>

なかなか先の見えないコロナ禍の生活への浸潤が、幼児教育の現場に及ぼす影響は計り知れないものがあります。日々無事に終えることだけで精一杯な状況の中でも教育目標に向けて常に努力されています。コロナ禍の今、ソーシャルメディアの活用が余儀なくされていますが、オールクリアされない部分にも、配慮されています。

安全面に関しては、細心の注意を払われること、長時間保育の実施にも、安全安心な時間、空間であるように尽力され続けることを期待しております。

現状、在園する幼児達は、園内においても行事等の簡素化、中止など何かと抑制される面が多いかと思えます。安全安心が第一ですが、園内で少しでもみんなの笑顔の時間が増えることを望みます。

<評議委員>

以上

令和2年度 三宝幼稚園
学校関係者評価委員名簿

立場・役職等	氏名	人数
三宝学園 評議委員	細田 賢一	1
三宝幼稚園 後援会会長	三枝 清子	1
評価委員合計		2 名